

学科名	スタイリスト学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期	○	後期	
講座コード	授業科目名								授業時間数			
S101	商品知識								15			
担当教員	伊井 香代美				科目区分	講義		演習	○	実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	国内、および海外アパレルで商品企画、輸入卸販売等に従事。実務経験とブランド知識を生かし、授業では、商品知識の基礎を指導する。										
講義目的												
ファッション業界で必要となるファッションアイテムの基礎知識を習得する。												
授業内容												
アパレル商品をアイテム別に取り上げ、名称、シルエット、ディテールの知識を得る。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	1	アパレル商品の総論					商品知識の必要性・ファッション用語の理解					
2	1	シルエットの名称					シルエットの理解と分類					
3	1	アパレル商品のサイズ表示					サイズ表示・読み方、外国のサイズ表示					
4	1	ワンピース分類					シルエット、着丈、名称の理解					
5	1	ワンピース分類					ワンピースの理解、商品説明					
6	1	スカート分類					シルエット、着丈、名称の理解					
7	1	スカート分類					スカートの名称、商品説明					
8	1	パンツ分類					シルエット、着丈、名称の理解					
9	1	パンツ分類					パンツの名称、商品説明					
10	1	デニムウェアの知識					デニムウェアの歴史					
11	1	デニムウェア分類					デニムウェアの種類					
12	1	シャツブラウス分類					シャツのシルエット、着丈、名称の理解					
13	1	シャツブラウス分類					シャツの理解、商品説明					
14	1	シャツブラウス分類					ブラウスのシルエット、着丈、名称の理解					
15	1	シャツブラウス分類					ブラウスの理解、商品説明					
留意事項												
アイテム知識(名称、ディテール、シルエット)を覚える事が条件であり、時間外の日常的なリサーチも重要である。欠席した場合は次回までに課題を終わらせておくこと。												
教材												
文化服装学院編「文化ファッション大系 ファッション流通講座5コーディネートテクニック アパレル編1(商品知識)」(文化出版局)												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
アイテムやディテール知識を知る事で、アイテムを分類、特定することができる。またそのアイテムの起源を知ることによって衣服に対する造詣を深める。				講義 課題作成				出席及び 小テストOR課題提出		100%		

学科名	スタイリスト学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期		後期	○
講座コード	授業科目名							授業時間数				
S101	商品知識							15				
担当教員	伊井 香代美				科目区分	講義		演習	○	実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	国内、および海外アパレルで商品企画、輸入卸販売等に従事。実務経験とブランド知識を生かし、授業では、商品知識の基礎を指導する。										
講義目的												
ファッション業界で必要となるファッションアイテムの基礎知識を習得する。												
授業内容												
アパレル商品をアイテム別に取り上げ、名称、シルエット、ディテールの知識を得る。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	1	ディテール					ネックライン、袖、ポケットの名称					
2	1	ニット分類					ニットの名称、商品説明					
3	1	ニット分類					ニット特有のディテール					
4	1	ジャケット・スーツ分類					シルエット、着丈、名称の理解					
5	1	ジャケット・スーツ分類					ジャケット・スーツの名称、商品説明					
6	1	コート分類					シルエット、着丈、名称の理解					
7	1	コート分類					コートの名称、商品説明					
8	1	紳士服の分類					シルエット、着丈、名称の理解					
9	1	紳士服の分類					シルエット、着丈、名称の理解					
10	1	紳士服の分類					紳士服の名称、商品説明					
11	1	紳士服の分類					紳士服の名称、商品説明					
12	1	子供服					子供服の種類、名称、商品説明					
13	1	フォーマルウェアの知識					洋装のフォーマル、昼・夜のフォーマル					
14	1	フォーマルウェアの知識					洋装のフォーマル、昼・夜のフォーマル					
15	1	フォーマルウェアの知識					ブライダル、喪服					
留意事項												
アイテム知識(名称、ディテール、シルエット)を覚える事が条件であり、時間外の日常的なリサーチも重要である。欠席した場合は次回までに課題を終わらせておくこと。												
教材												
文化服装学院編「文化ファッション大系 ファッション流通講座5コーディネートテクニック アパレル編1(商品知識)」(文化出版局)												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
アイテムやディテール知識を知る事で、アイテムを分類、特定することができる。またそのアイテムの起源を知ることによって衣服に対する造詣を深める。				講義 課題作成				出席及び 小テストOR課題提出			100%	

学科名	スタイリスト学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期	○	後期	
講座コード	授業科目名							授業時間数				
S102	スタイリング I							60				
担当教員	福西美里				科目区分	講義		演習	○	実習		
実務経験のある教員等による授業科目		○	現役スタイリスト。実務経験を生かし、スタイリストに必要な業界の仕組み、リサーチ方法を指導する。									
講義目的												
ファッションビジネス業界の産業構造の理解。市場調査の理解と実践。基本的なスタイリングの組立方・撮影の現場でスタイリストアシスタントとして必要な知識と技術を学ぶ。												
授業内容												
ファッションビジネスの概要を学び、マーケティングの流れを把握。スタイリスト(アシスタント)に必要なリサーチの手法を身に付け、マップ作成する事で理解し、実践を交えながらアイテム取り扱い方法やスタイリングを組む手順やフィッティング方法を学ぶ事で客観的視点でイメージにあうバランスの取れたコーディネートテクニックを理解する。スタイリング全般の基礎知識を習得する。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容				学習課題						
1	2	ファッションビジネス概論				ファッションビジネスの基本知識・歴史・最近の傾向と用語						
2	2	スタイリスト概要・ブランド研究				STYについて、ファッションサイクル、ブランド研究						
3	2	スタイリストの心得				フィッター心得、注意点、持参物、アシスタント心得						
4	7	アイロン講習				アイロンの使い方、アイロンがけ						
5	2	スタイリング4つの要素				カラー、素材、コーディネート						
6	2	スタイリング組立				テーマ、ターゲット発表、スタイリング考案						
7	8	リサーチ講習、課題				テーマ別のアイテムリサーチ、MAP						
8	4	ファッション感性8分類				資料収集、MAP作成						
9	4	裾上げ講習 部分講習				パンツの裾上げ(テープ、縫製)、SKの裾上げ、帽子内張り、ネクタイ、リボン靴紐結び方、底張						
10	4	スタイルプランニング組立				ターゲットライフ、オケージョン、シーズンサイクル						
11	4	商品管理の仕方、フィッティング講習、撮影の入り方				タグ、商品管理、返却準備、フィッティング練習、基本用語、立ち振る舞い、心得						
12	2	スタイリング組立				プレゼンテーション・コーディネートチェック・修正						
13	3	染み抜き講習/実技確認テスト				現場で使える染み抜きテクニック/アイロン、底張り、ネクタイ類						
14	2	スタイリング組立				最終スタイリングチェック						
15	12	スタイリングMAP検定				講義6、まとめ						
留意事項												
マップ作成の途中経過チェックが必要であり、欠席や作業遅れの場合は次回授業までに課題を進めておくこと。共同授業担当 澤山世莉 伊井香代美												
教材												
文化服装学院編「文化ファッション大系 ファッション流通講座7 コーディネートテクニック(演出編)」(文化出版局) スタイリングの教科書(一般社団法人日本ファッションスタイリスト協会)												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
スタイリング基礎となるファッションアイテムがもたらすイメージを理解する。スタイリングの組み立て方を学びながら、F.S.A認定Styling map検定ジュニアレベルの合格を目指す。				講義 実技 課題作成				テスト	30%			
								提出物/期限遵守	70%			

学科名	スタイリスト学科				コース名						
分類	必修	○	選択		配当学年	2	年	学期	前期	後期	○
講座コード	授業科目名							授業時間数			
S117	スタイリング I							30			
担当教員	福西美里				科目区分	講義		演習	○	実習	
実務経験のある教員等による授業科目	○				現役スタイリスト。実務経験を生かし、スタイリストに必要な業界の仕組み、リサーチ方法を指導する。						
講義目的											
ファッション業界の仕事に必要なコーディネート方法・TPOの理解と、撮影の現場でスタイリストアシスタントとして必要な知識と技術を学ぶ。											
授業内容											
スタイリストアシスタントに必要な基礎知識をマップ作成する事で理解し、また実践を交えながらアイテム取り扱い方法やスタイリングを組む手順を学ぶ事で客観的視点でのイメージにあうバランスの取れたコーディネートテクニックを理解する。											
授業計画及び学習課題											
項目	回数	内容				学習課題					
1	2	スタイリング組				プランチェック					
2	2	体型カバー①撮影				スタイリング撮影・プラン立て					
3	2	スタイリング組				アイテムリサーチ					
4	2	スタイリングプラン再検討				プラン修正・チェック					
5	2	体型カバー①撮影				スタイリング撮影、講義(小物について)					
6	2	スタイリング組				第1回アイテムチェック					
7	2	体型カバー②撮影				スタイリング撮影・プラン立て					
8	2	スタイリング組				第2回アイテムチェック、ヘアメイク案チェック					
9	2	スタイリング組				ヘアメイク練習					
10	2	スタイリング組(コーディネートチェック)				着用コーディネートチェック(ヘアメイク込)ポージング資料					
11	2	スタイリング組(コーディネートチェック)				最終コーディネートチェック					
12	2	体型カバー②撮影				スタイリング撮影・MAP作成					
13	2	撮影				検品作業、ポージング考案、フィッターカード作成					
14	2	スタイリング組				返却作業、撮影データ選定					
15	2	総まとめ									
留意事項											
繰り返し練習が上達の条件であり、作業が遅れた場合と欠席した場合は、次回授業までに課題を終わらせておくこと。共同授業担当 澤山世莉 伊井香代美											
教材											
文化服装学院編「文化ファッション大系 ファッション流通講座7 コーディネートテクニック(演出編)」(文化出版局)											
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合			
テーマやターゲットに合わせたスタイリングを製作、作品撮りからショーに至るまで、一連のスタイリストワークを実践の中で学ぶ。				講義 実習 課題作成				検定試験結果		30%	
								提出物/期限遵守		70%	

学科名	スタイリスト学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期	○	後期	
講座コード	授業科目名							授業時間数				
S103	ファッションドローイング I							30				
担当教員	岡本 多茂子				科目区分	講義		演習	○	実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	婦人服アパレルで海外提携ブランドのデザイナーとして勤務。その後、婦人服の企画、生産指示などの仕事に従事した教員が、ドローイングテクニックについて指導にあたる。										
講義目的												
ファッション業界で仕事をしていく上で必要となるデザイン画の表現方法を学ぶ。												
授業内容												
ハンガーイラストとスタイリング画の描き方を学び実践する。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	2	ドローイング概論・ハンガーイラスト					ハンガーイラスト下敷き作成					
2	2	ハンガーイラスト(スカート・パンツ)					ハンガーイラストの説明/スカート・パンツの描き方					
3	2	ハンガーイラスト(カットソー)/NLのデザイン					カットソーの描き方/ネックラインのデザインを描く					
4	2	ハンガーイラスト(シャツ・ブラウス)/衿のデザイン					シャツ・ブラウスの描き方/衿のデザインを描く					
5	2	ハンガーイラスト(JK・ブルゾン・コート)					ジャケット・ブルゾン・コートの描き方					
6	2	ハンガーイラスト4アイテム					4アイテムの写真を平面イラストに仕上げる					
7	2	ハンガーイラスト4アイテム					4アイテムの写真を平面イラストに仕上げる					
8	2	ファッショングッズ・アクセサリーの描き方					帽子・靴・靴・アクセサリーの描き方					
9	2	顔のプロポーション					正面・側面の顔を仕上げる					
10	2	ヘアスタイルの描き方					ヘアスタイルバリエーションを描く					
11	2	顔の模写					雑誌の切り抜きを見て3体仕上げる					
12	2	顔の模写					雑誌の切り抜きを見て3体仕上げる					
13	2	基本プロポーション					8頭身スードボディを仕上げる					
14	2	斜め向き全身プロポーション					ボディバリエーションを描く					
15	2	まとめ					総復習					
留意事項												
課題は毎時間ごと提出する。												
教材												
テキスト(ファッションデザイン画)												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
アイテムイラストが描ける。 顔のプロポーションが描ける。				講義 課題作成				提出物/期限遵守		90%		
								取組姿勢		10%		

学科名	スタイリスト学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期		後期	○
講座コード	授業科目名							授業時間数				
S103	ファッションドローイング I							30				
担当教員	岡本 多茂子				科目区分	講義		演習	○	実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	婦人服アパレルで海外提携ブランドのデザイナーとして勤務。その後、婦人服の企画、生産指示などの仕事に従事した教員が、ドローイングテクニックについて指導にあたる。										
講義目的												
ファッション業界で仕事をしていく上で必要となるデザイン画の表現方法を学ぶ。												
授業内容												
ハンガーイラストとスタイリング画の描き方を学び実践する。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	2	水着スタイリング					水着スタイリング(鉛筆仕上げ)					
2	2	影の描き方・シワの描き方					鉛筆のよる影の描き方					
3	2	アウトラインの描き方					スタイリングをペン入れ仕上げ					
4	2	素材表現とスタイリング(レース)					レース素材のスタイリングを描く・平面イラスト込み					
5	2	素材表現とスタイリング(レース)					スタイリング着色					
6	2	素材表現とスタイリング(レース)										
7	2	素材表現とスタイリング(チェック)					チェック素材のスタイリングを描く・平面イラスト込み					
8	2	素材表現とスタイリング(チェック)					スタイリング着色					
9	2	素材表現とスタイリング(チェック)										
10	2	素材表現とスタイリング(デニム)					デニム素材のスタイリングを描く・平面イラスト込み					
11	2	素材表現とスタイリング(デニム)					スタイリング着色					
12	2	素材表現とスタイリング(デニム)										
13	2	テーマによるスタイリング提案					スタイリング着色					
14	2	テーマによるスタイリング提案					スタイリング着色					
15	2	まとめ					総復習					
留意事項												
課題は毎時間ごと提出する。												
教材												
テキスト(ファッションデザイン画)												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
テーマによるスタイリングイラストが描ける。				演習				提出物/期限遵守		90%		
								取組姿勢		10%		

学科名	スタイリスト学科				コース名						
分類	必修	○	選択	配当学年	1	年	学期	前期	○	後期	
講座コード	授業科目名							授業時間数			
S105	ヘアメイクアップ I							15			
担当教員	馬庭 祥子				科目区分	講義		演習	○	実習	
実務経験のある教員等による授業科目	○	コレクション、コンテストイベント等に多数参加。企業・団体向けメイク講座の講師、フリーペーパー誌面内にてメイクテクニックを紹介。また広告撮影、TV局アナウンサー、ブライダルヘアメイクも手掛けた豊富な経験をもとに学生を指導。									
講義目的											
メイクアップの基礎を理解し、イメージを表現する方法を学ぶ。											
授業内容											
メイクアップの基礎知識や基本テクニックを学び、モデルに実践する。											
授業計画及び学習課題											
項目	回数	内容					学習課題				
1	1	皮膚の基礎知識①					スキントイプ、顔パーツの各名称				
2	1	スキンケア					クレンジング、化粧水、乳液				
3	1	皮膚の基礎知識②					皮膚の構造、肌ダメージの原因				
4	1	ベースメイクアップ					化粧下地、ファンデーション、フェイスパウダー				
5	1	ポイントメイクアップ①アイメイク					各名称、アイシャドウ、アイライン、				
6	1	ポイントメイクアップ①アイメイク					ビューラー、マスカラ				
7	1	ポイントメイクアップ②アイブロウ					各名称、基本位置				
8	1	ポイントメイクアップ②アイブロウ					眉の描き方				
9	1	ポイントメイクアップ③リップ					各名称、リップの描き方				
10	1	ポイントメイクアップ④チーク					各名称、チークの基本範囲				
11	1	ベーシックメイクアップテスト①					筆記テスト				
12	1	ベーシックメイクアップテスト②					実技テスト				
13	1	毛髪基礎、ポニーテール					毛髪の基礎知識、ポニーテール(結ぶアレンジ)				
14	1	毛髪基礎、編み込み					毛髪の基礎知識、編み込み(編むアレンジ)				
15	1	まとめ					前期内容復習				
留意事項											
教材											
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合			
メイクアップの基礎的な目的やバランスを理解し、化粧品を用いて基本のメイクアップが出来る。				講義と実践				筆記実技試験		40%	
								課題		50%	
								習熟度		10%	

学科名	スタイリスト学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期		後期	○
講座コード	授業科目名							授業時間数				
S105	ヘアメイクアップ I							15				
担当教員	馬庭 祥子				科目区分	講義		演習	○	実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	コレクション、コンテストイベント等に多数参加。企業・団体向けメイク講座の講師、フリーペーパー誌面内にてメイクテクニックを紹介。また広告撮影、TV局アナウンサー、ブライダルヘアメイクも手掛けた豊富な経験をもとに学生を指導。										
講義目的												
ヘアスタイルを仕上げる為の基礎的な技術を学び、メイクアップと合わせてイメージを表現する。												
授業内容												
ヘアメイクの基礎と応用テクニックを学び、ヘアウィッグやモデルに実践する。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	1	ホットカーラー					カーラー巻き					
2	1	ホットカーラー					カールのさき方・まとめ方					
3	1	シニヨン					毛タボの使い方					
4	1	ヘアアレンジ					ボリュームを出したアレンジ					
5	1	アイブロッキング					縦割り、横割りグラデーション					
6	1	アイブロウパターン					アイブロウパターン					
7	1	ハイライト・ローライト					ハイライト・ローライトの入れ方					
8	1	アイラインパターン					アイラインパターン					
9	1	ヘアアイロン					ヘアアイロンの使い方					
10	1	ヘアアレンジ					ダウンスタイルのアレンジ					
11	1	イメージメイクアップ					2パターン of イメージメイクアップ①					
12	1	イメージメイクアップ					2パターン of イメージメイクアップ②					
13	1	修了展ヘアメイクレッスン					修了展ヘアメイクレッスン①					
14	1	修了展ヘアメイクレッスン					修了展ヘアメイクレッスン②					
15	1	修了展ヘアメイクレッスン					修了展ヘアメイクレッスン③					
留意事項												
教材												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
ヘアの基本テクニックを身に付け、メイクの応用テクニックと合わせイメージを表現する事が出来る。				講義と実践				筆記実技試験		40%		
								課題		50%		
								習熟度		10%		

学科名	スタイリスト学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期	○	後期	
講座コード	授業科目名								授業時間数			
	ファッションカラー								15			
担当教員	西山 マキ				科目区分	講義	○	演習		実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	チラシ・パンフレットの作成。カラーセラピーを通して舞台美術・衣裳のデザインや制作、カラーコーディネートを行っている。										
講義目的												
<ul style="list-style-type: none"> ・色を細分化し具体的に学ぶことで、色の性質を学習する。 ・色彩学の基礎を習得し、活用する知識を身につける。 												
授業内容												
<ul style="list-style-type: none"> ・色彩の働き、色の三属性、対比現象などを学習し、色の役割や効果を理解する。 ・カラーカードを活用したワークや課題制作で体験的に色を感じる能力を身につける。 												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	1	STEP1 色彩の役割①					・オリエン ・個人の表現など ・色相環貼付け					
2	1	STEP1 色彩の役割②					・時代の表現など ・明度彩度表貼り付け ・色相環					
3	1	STEP2 色の表し方①					・色の三属性と分類 ・トーン表					
4	1	STEP2 色の表し方②					・色立体 ・トーンの明度 ・彩度貼付け					
5	1	STEP2 色の表し方③					・色相&トーンのイメージ					
6	1	照明と色の見え方					・光と色との関係 ・色名					
7	1	課題制作①					・アイテムの検索、収集 ・完成・提出					
8	1	課題制作②					・アイテムの検索、収集 ・完成・提出					
9	1	STEP3 色の見え方とイメージ①					・色の対比など					
10	1	STEP3 色の見え方とイメージ②					・色の同化現象など					
11	1	STEP3 色の見え方とイメージ③					・色の視認性など					
12	1	STEP3 色の見え方とイメージ④					・色のイメージ(色相) ・心理的効果					
13	1	STEP3 色の見え方とイメージ⑤					・色のイメージ(トーン) ・心理的効果					
14	1	STEP3 色の見え方とイメージ⑥					・色のイメージとカラー配色					
15	1	まとめ					・前期の復習					
留意事項												
<ul style="list-style-type: none"> ・課題制作では動画を見ながら別端末での制作なのでスマートフォンやタブレット、パソコンを別で用意してください。無い場合は紙を用意して制作しても大丈夫です。 												
教材												
日本色研事業株式会社「ファッション&ビューティーの色彩」 新配色カード(199a)												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
ファッション業界に役立つ色彩効果をプランニングし活用できるようにする。				講義 テスト				テスト		100%		

学科名	スタイリスト学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期		後期	○
講座コード	授業科目名								授業時間数			
	ファッションカラー								15			
担当教員	西山 マキ				科目区分	講義	○	演習		実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	チラシ・パンフレットの作成。カラーセラピーを通して舞台美術・衣裳のデザインや制作、カラーコーディネートを行っている。										
講義目的												
<ul style="list-style-type: none"> ・色彩の役割と配色技法を理解し、プランニングに活用する。 ・パーソナルカラーや心理的效果を現場実習で活用する。 												
授業内容												
<ul style="list-style-type: none"> ・配色を中心とした色彩効果を、スタイリング分析で理解する。 ・パーソナルカラーや色の心理を通して、色彩の役割を学習する。 												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	1	STEP4 配色の基本①					・配色における色相の関係					
2	1	STEP4 配色の基本②					・配色におけるトーンの関係					
3	1	STEP4 配色の基本③					・配色と面積					
4	1	STEP4 配色の基本④					・ファッション配色技法1					
5	1	STEP4 配色の基本⑤					・ファッション配色技法2					
6	1	STEP4 配色の基本⑥					・ファッション配色技法3					
7	1	STEP4 配色の基本⑦					・ファッション配色技法4					
8	1	課題制作					・アイテムの検索、収集 ・完成・提出					
9	1	ファッショントレンド					・流行色 ・トレンドの流れ					
10	1	戦後のファッションと美容					・ファッションと美容の歴史					
11	1	パーソナルカラー①					・似合う色とは					
12	1	パーソナルカラー②					・フォーシーズン分類					
13	1	色彩心理					・色の心理効果、感情効果					
14	1	色の役割					・消費者が選択する色 ・生活と色彩					
15	1	まとめ					・1年間の総括					
留意事項												
課題制作では実際に自分が持っているアイテムを使用します。												
教材												
日本色研事業株式会社「ファッション&ビューティーの色彩」 新配色カード(199a)												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
配色技法や色彩の役割を学び、ファッションに活かしていく。 色彩検定3級合格を目指す。				講義 テスト				テスト		100%		

学科名	スタイリスト学科				コース名						
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期	○	後期
講座コード	授業科目名							授業時間数			
S107	素材知識 I							15			
担当教員	丸山 美幸				科目区分	講義	○	演習		実習	
実務経験のある教員等による授業科目	○	大手アパレルのチーフデザイナーとして、婦人服の複数ブランドを担当をへて高級婦人服プリントの企画と配色に従事。市場調査や流行分析、ブランドの市場への定着に積極的に取り組む。授業では、素材の基礎知識を販売～企画に活かせるよう指導									
講義目的											
素材の成り立ちや特性を理解し、服の基礎となる素材知識を習得する。											
授業内容											
素材の種類、糸、生地についての講義。 素材によるシルエットや着心地の変化、取扱い方の違いを理解する。											
授業計画及び学習課題											
項目	回数	内容					学習課題				
1	1	オリエンテーション					カリキュラム説明、素材や生地について				
2	1	基本導入					生地の基本・繊維の分類				
3	1	天然繊維①					植物繊維				
4	1	天然繊維②					動物繊維				
5	1	化学繊維①					再生繊維				
6	1	化学繊維②					半合成繊維				
7	1	化学繊維③					合成繊維				
8	1	糸について①					糸の種類・紡績糸				
9	1	糸について②					糸の撚りや番手				
10	1	糸について③					複合糸・意匠糸				
11	1	織物について①					織物の3原組織				
12	1	織物について②					織物の変化組織、その他織物				
13	1	編物について①					編物の3原組織				
14	1	編物について②					その他の編み物組織				
15	1	復習テスト					前期復習				
留意事項											
講義で習った素材は触って覚えること。 素材感を実感する習慣をつける。製品品質表示や下げラベルを意識して見ることを習慣づける。 テストは、期限内に必ず提出すること。											
教材											
文化服装学院編「文化ファッション大系 服飾関連専門講座1 改訂版・アパレル素材論」(文化服装学院)「服地の基本がわかるテキスタイル事典」(ナツメ社)											
最終到達目標			学習法				評価方法及び評価割合				
素材の特性を理解し、素材によるシルエットや着心地の変化、取り扱い方法について説明が出来るようになる。			講義 テスト				テスト		100%		

学科名	スタイリスト学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期		後期	○
講座コード	授業科目名							授業時間数				
S107	素材知識 I							7				
担当教員	丸山 美幸				科目区分	講義	○	演習		実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	大手アパレルのチーフデザイナーとして、婦人服の複数ブランドを担当をへて高級婦人服プリントの企画と配色に従事。市場調査や流行分析、ブランドの市場への定着に積極的に取り組む。授業では、素材の基礎知識を販売～企画に活かせるよう指導										
講義目的												
素材の成り立ちや特性を理解し、服の基礎となる素材知識を習得する。												
授業内容												
素材の種類、糸、生地についての講義。 素材によるシルエットや着心地の変化、取扱い方の違いを理解する。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	1	繊維製品取り扱い①					洗濯絵表示					
2	1	繊維製品取り扱い②					品質表示					
3	1	繊維製品取り扱い③					洗濯・クリーニング・洗剤					
4	1	繊維製品取り扱い④					保管・手入れ方法					
5	1	繊維製品取り扱い⑤					しみ抜き					
6	1	復習テスト					後期復習					
7	1	総復習テスト					1年生の総復習					
留意事項												
講義で習った素材は触って覚えること。 素材感を実感する習慣をつける。 製品品質表示や下げラベルを意識して見ることを習慣づける。												
文化服装学院編「文化ファッション大系 服飾関連専門講座1 改訂版・アパレル素材論」(文化服装学院)「服地の基本がわかるテキスタイル事典」(ナツメ社)												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
素材の特性を理解し、素材によるシルエットや着心地の変化、取り扱い方法について説明が出来るようになる。				講義 テスト				テスト		100%		

学科名	スタイリスト学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期	○	後期	
講座コード	授業科目名							授業時間数				
S110	スタイリング造形 I							60				
担当教員	佐々木 啓子・眞砂 香				科目区分	講義		演習	○	実習		
実務経験のある教員等による授業科目												
講義目的												
服作りの基礎となる基本アイテムの製図・縫製方法を学び、知識・技術を身に付ける。												
授業内容												
スカートの平面製図と縫製、手縫い・ミシン扱いの基礎を制作の中で学ぶ。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	4	基礎・スカート					用品理解・身体採寸方法・線の引き方・SK名称・Wサイズ・原型					
2	4	基礎・ミシン講習					用具説明・シーチングカット・糸かけの仕方・ミシンの使い方					
3	4	スカート①					セミタイトスカート製図・トワールトレース					
4	4	縫い代始末・ファスナー①					縫い代の始末方法・フラットニットファスナーの付け方					
5	4	スカート①					セミタイトスカート組み立て・プリーツ・ギャザー・フレア追加					
6	4	ファスナー②③					コンシールファスナーの付け方・金属ファスナーのサイズ調整・ムシ見せの付け方					
7	4	スカート①					サンプル用スカート・工業用パターン・指図書					
8	4	ファスナー④⑤					オープンファスナー(ムシ見せ)・(ムシ隠し)					
9	4	スカート②					フレアスカート製図・アイテム採寸方法					
10	4	手縫い・セミタイトスカート					奥、流しまつりなど・伸び止め貼・ロックミシン・ファスナーつけ					
11	4	ブラウス①					BOXシルエットブラウス製図・完成パターン2セット					
12	4	セミタイトスカート					ベルト付け・裾始末、ホック付け 検品					
13	4	ブラウス②					Wダーツブラウス製図・パネルラインブラウス製図					
14	4	特殊素材①					オーガジーの扱い方(巾着制作)					
15	4	ブラウス③・衿					シャツカラー・スタンドカラー・台衿・フラットカラー					
留意事項												
授業で遅れた分は、次回授業までに課題を終わらせておく必要がある。												
教材												
大阪文化服装学院編「サンプルメイキング」(大阪文化服装学院)												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
各部位の名称理解、服の構造が解り、スカートの製図と縫製が出来る。				課題作成 実技試験				提出物/期限遵守		90%		
								取り組み姿勢		10%		

学科名	スタイリスト学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期		後期	○
講座コード	授業科目名								授業時間数			
S110	スタイリング造形 I								60			
担当教員	佐々木 啓子・眞砂 香				科目区分	講義		演習	○	実習		
実務経験のある教員等による授業科目												
講義目的												
服作りの基礎となる基本アイテムの製図・縫製方法を学び、知識・技術を身に付ける。												
授業内容												
ブラウス・パンツの平面製図と縫製、特殊素材や金属パーツの扱いを制作の中で学ぶ。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	4	袖					半袖・ギャザー袖・袖口タック袖・袖山ギャザー袖					
2	4	特殊素材②					PVCの扱い方(バッグ作り)					
3	4	ブラウス					完成パターン・トワールトレース					
4	4	特殊素材②③					ハトメ、ドットボタン・コルセット					
5	4	ブラウス					組み立て・工業用パターン					
6	4	特殊素材④					アクセサリ					
7	4	ブラウス					工業用パターン・指図書					
8	4	刺繍の基本と応用					刺繍の仕方・各自アイテムに刺繍					
9	4	アイテム制作					修了展アイテム制作					
10	4	デザインブラウス					芯貼り・ロックミシン・身頃組み立て					
11	4	ボトムス・パンツ①					スカート、パンツアイテム計測方法・スリムパンツ					
12	4	デザインブラウス					衿作り・衿付け・袖作り・袖付け					
13	4	パンツ②					ベルボトムパンツ					
14	4	デザインブラウス					ボタンホール ボタン付け・仕上げ 検品					
15	4	パンツ③					ワイドパンツ					
留意事項												
授業で遅れた分は、次回授業までに課題を終わらせておく必要がある。												
教材												
大阪文化服装学院編「サンプルメイキング」(大阪文化服装学院)												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
ブラウスの製図と縫製方法を習得。 特殊素材や金属パーツの扱いができ、コスチュームに上手く組み込み制作できる。				課題作成				提出物/期限遵守		90%		
								取り組み姿勢		10%		

学科名	スタイリスト学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期	○	後期	
講座コード	授業科目名								授業時間数			
S112	ビジネスコミュニケーション I								15			
担当教員	伊井 香代美				科目区分	講義		演習	○	実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	国内、および海外アパレルで商品企画、輸入卸販売等に従事。国内アパレルでは、主に販売職から店舗運営全般に至る業務と新人教育までを担当する。幅広い実務経験を活かした内容でビジネスコミュニケーションを指導。										
講義目的												
職場内での人間関係や良い雰囲気を作り出す為のコミュニケーション方法やマナーの重要性を理解して実践練習を通して学び、インターンシップや卒業後の社会生活で活用できることを目的とする。												
授業内容												
社会人の心得やマナーといった基本から、ビジネスシーンにおける対人関係を良好にするための、コミュニケーションの技法を学び、繰り返し実践を行う。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	1	オリエンテーション					授業内容解説、ルール説明、自己紹介					
2	1	ビジネスコミュニケーション概要					概要説明、社会人の心得やマナー、コミュニケーションについて考えるワーク					
3	1	ビジネス文書					社内、社外文書、メールの送り方					
4	1	自分を客観視する力					自己評価と他者評価の違いを知る					
5	1	ビジネスマナー1					美意識、身だしなみ、スマイルトレーニング、接客8大用語⇒お辞儀と共に実践					
6	1	ビジネスマナー2					スマイルトレーニング、敬語、話し方					
7	1	ビジネスマナー3					クッション言葉解説、練習					
8	1	コミュニケーション1					聴く力をつける ラポールテクニック解説、実践					
9	1	コミュニケーション2					聴く力をつける ラポールテクニック解説、実践					
10	1	コミュニケーション3					察する力をつける キャリブレーション解説、実践					
11	1	コミュニケーション4					会話トレーニング					
12	1	前期テスト					筆記試験					
13	1	ビジネスマナー4					電話応対解説、実践					
14	1	ビジネスマナー5					クレーム応対解説、実践					
15	1	前期総括					ビジネスマナー習得総括総括					
留意事項												
繰り返し練習が上達の条件であり、欠席した場合は次回授業までに内容を確認して準備しておくこと。												
教材												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
ビジネスマナーとコミュニケーション技法の必要性を知り理解する事				講義 実技				筆記試験		40%		
								提出物/期限厳守		30%		
								取組姿勢		30%		

学科名	スタイリスト学科				コース名					
分類	必修	○	選択	配当学年	1	年	学期	前期	後期	○
講座コード	授業科目名						授業時間数			
S112	ビジネスコミュニケーション I						15			
担当教員	伊井 香代美				科目区分	講義	演習	○	実習	
実務経験のある教員等による授業科目	○	国内、および海外アパレルで商品企画、輸入卸販売等に従事。国内アパレルでは、主に販売職から店舗運営全般に至る業務と新人教育までを担当する。幅広い実務経験を活かした内容でビジネスコミュニケーションを指導。								
講義目的										
職場内での人間関係や良い雰囲気を作り出す為のコミュニケーション方法やマナーの重要性を理解して実践練習を通して学び、インターンシップで活用できることを目的とする。										
授業内容										
社会人の心得やマナーといった基本から、ビジネスシーンにおける対人関係を良好にするための、コミュニケーションの技法を学び、繰り返し実践を行う。										
授業計画及び学習課題										
項目	回数	内容				学習課題				
1	1	ビジネスマナー6				会社訪問マナー 名刺交換の目的 名刺交換実践				
2	1	ビジネスマナー7				服装と身嗜み 面接の入室から退室まで退室まで				
3	1	ビジネスマナー8				面接(入室から退室)のマナー実践実践				
4	1	ビジネスマナー9				自己紹介の組み立て方 自己分析の仕方				
5	1	ビジネスマナー10				自己紹介プレゼン考案(自己PR作成)				
6	1	ビジネスマナー11				グループ模擬実践で対応力を身に着ける				
7	1	ビジネスマナー12				面接対応法⇒まとめ 話し方10のポイント				
8	1	コミュニケーション5				伝える力をつける プレゼンテーション基本解説				
9	1	コミュニケーション6				伝える力をつける プレゼンテーション組立実践				
10	1	コミュニケーション7				伝える力をつける プレゼンテーション発表				
11	1	後期テスト				習得レベルの確認				
12	1	グループディスカッション				テーマ1				
13	1	グループディスカッション				テーマ2				
14	1	グループディスカッション				テーマ3				
15	1	後期まとめ				総まとめ				
留意事項										
繰り返し練習が上達の条件であり、欠席した場合は次回授業までに内容を確認して準備しておくこと。										
教材										
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合		
ビジネスマナーを知り円滑なコミュニケーションを心掛けインターンシップや就職活動に活かすこと。				講義 実技				筆記試験		40%
								提出物/期限厳守		30%
								取組姿勢		30%

学科名	スタイリスト学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期		後期	○
講座コード	授業科目名								授業時間数			
	西洋服装史								15			
担当教員	筒井 直子				科目区分	講義	○	演習		実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	西洋服飾の研究機関にて学芸員として20年以上勤務。その知識と経験をもとに、西洋服装の歴史並びに実物の詳細を解説する										
講義目的												
西洋服装の基礎知識を学び、時代地域、社会、芸術との関わりを知る。												
授業内容												
古代から現代までの西洋の服飾について、絵画、写真、雑誌、映画などを参照しながら歴史をたどる。その中で基本的な事象や用語を踏まえつつ、衣服自体の構造や構成についても言及していく。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	1	イントロダクション					歴史衣装を学ぶことの意義とその活用について					
2	1	古代					古代メソポタミア～古代ローマの服装を理解する					
3	1	中世					中世の服装の変遷を理解する					
4	1	16世紀					スペイン、イギリスを中心とする服装の特徴を理解する					
5	1	17世紀					オランダを中心とする服装の特徴を理解する					
6	1	18世紀①					フランスの社会構造と服装の関連を理解する					
7	1	18世紀②					フランス宮廷における服装の実物遺品の詳細を学ぶ					
8	1	19世紀①					市民社会の社会構造と服装の関連を理解する					
9	1	19世紀②					ファッション産業に関する諸事情について理解する					
10	1	19世紀③					19世紀の服装の実物遺品の詳細を学ぶ					
11	1	下着の歴史					主に 18世紀から 19世紀の下着の種 と構造を学ぶ					
12	1	20 世紀前期					デザイナーの活躍と社会的背景について理解する					
13	1	20 世紀中期					オートクチュール全盛期の服装について学ぶ					
14	1	20 世紀後期					プレタポルテが牽引する服装について学ぶ					
15	1	現代とこれまでの総括					歴史を振り返りその活かし方を学ぶ					
留意事項												
授業の中で紹介するサイトや書籍、映画等に出来る限り目を通す事												
教材												
ポータルPDFを添付(深井晃子監修『世界服飾史』(美術出版社)や筒井直子監修『服をめぐる』など)												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
服装の時代的な変遷を理解し、その社会や時代背景を関連付ける。 また、その知識をデザインやコーディネートに反映する				授業動画を繰り返し視聴し、用語や事象を復習する。また、西洋絵画や文化に関する書籍や展覧会に触れる事でより理解を深めることができる				提出物		100%		

学科名	スタイリスト学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期		後期	○
講座コード	授業科目名								授業時間数			
S115	就職対策 I								15			
担当教員	伊井 香代美				科目区分	講義	○	演習		実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	国内、および海外アパレルで商品企画、輸入卸販売等に従事。幅広い実務経験を活かし、自己分析から面接までを学生に指導。										
講義目的												
現場に身を置き、実務を経験することで、卒業後の働くという意識を高める。												
授業内容												
インターンシップについて説明・履歴書作成・面接模擬試験・インターンシップ実施・就職活動方法の説明。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	1	インターンシップについて					インターンシップへの理解・注意事項説明					
2	1	自己PR					履歴書自己PRの書き方					
3	1	企業選びのポイント					企業の選び方の理解					
4	1	面接のポイント					面接設問に対する受け答え方の理解					
5	1	履歴書					履歴書の書き方・作成					
6	1	履歴書					履歴書作成					
7	1	面接模擬試験					面接試験受け答え					
8	1	面接模擬試験					面接試験受け答え					
9	1	職種研究会について					職種研究会参加への理解					
10	1	インターンシップ誓約・承諾内容・教育記録					誓約内容の理解・教育記録の記入方法の理解					
11	1	インターンシップ内容レクチャー					先輩からのレクチャー					
12	1	就職活動内容レクチャー					先輩からのレクチャー					
13	1	インターンシップ					現場体験					
14	1	書類の書き方					お礼状の書き方					
15	1	就職活動について					企業研究会・スタイリスト事務所就職活動方法					
留意事項												
インターンシップ参加条件有。 担当教員のチェックを受けた履歴書の提出及び、面接模擬試験受験、誓約書・承諾書の提出。												
教材												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
インターンシップに参加し目指す職業の方向性を決める。				講義 実践				取組姿勢		80%		
								習熟度(到達目標に対して)		20%		

学科名	スタイリスト学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期	○	後期	
講座コード	授業科目名							授業時間数				
S116	クリエイティビティI							15				
担当教員	蓬萊彩奈				科目区分	講義		演習	○	実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	大手アパレルで婦人服のデザイナーとして勤務。二次加工を主とした製品・生地開発の企画に従事。授業では様々な観点からアイデアを発見し、デザイン発想の基礎・クリエイティブなコレクションデザインの表現までを指導する。										
講義目的												
様々なテーマからインスピレーションを受け、ファッションデザインの基礎となるデザイン展開方法を学び、スタイリングデザインをするための発想力を身に付ける。												
授業内容												
テーマ、コンセプトを立てスタイリングを発想する手法を学び、リサーチ、発想力を強化させる。またオリジナリティのあるスタイリングを表現できる力を身につける。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	1	スタイリングデザインについて					授業内容の説明					
2	1	スタイリングデザイン発想①					ブレインストーミングの練習					
3	1	スタイリングデザイン発想					ムード・トレンド分析					
4	1	スタイリングデザイン発想					イメージ資料の収集とチェック・スケッチ					
5	1	スタイリングデザイン発想					インスピレーションミュージズのリサーチと研究					
6	1	スタイリングデザイン発想					カラーージュ実験とイラストレーションミックス					
7	1	スタイリングデザイン発想					シルエット開発とプロポーシオン決定					
8	1	スタイリングデザイン発想					スパイスとなるアイデアのリサーチ手法					
9	1	スタイリングデザイン発想					アイデア落とし込み					
10	1	スタイリングデザイン発想					テクニクリサーチ手法・落とし込み					
11	1	スタイリングデザイン発想					MAP説明					
12	1	スタイリングデザイン発想					MAP作成					
13	1	スタイリングデザイン発想②【連動】					イメージ資料の収集とチェック・スケッチ					
14	1	スタイリングデザイン発想					インスピレーションミュージズのリサーチと研究					
15	1	スタイリングデザイン発想					カラーージュ実験とイラストレーションミックス					
留意事項												
自分自身の発想に必要なアイデアをたくさんの事柄からセレクトしデザインへ落とし込む為、何事にも興味を持って普段から過ごすこと。												
教材												
最終到達目標			学習法				評価方法及び評価割合					
テーマからインスピレーションしたスタイリングを提案し、自らの新しいスタイリングを考案する			ディスカッション 課題作成				取組姿勢			25%		
							提出物			25%		
							習熟度(到達目標に対して)			50%		

学科名	スタイリスト学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期		後期	○
講座コード	授業科目名							授業時間数				
S116	クリエイティビティ I							15				
担当教員	蓬菜彩奈				科目区分	講義		演習	○	実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	大手アパレルで婦人服のデザイナーとして勤務。二次加工を主とした製品・生地開発の企画に従事。授業では様々な観点からアイデアを発見し、デザイン発想の基礎・クリエイティブなコレクションデザインの表現までを指導する。										
講義目的												
様々なテーマからインスピレーションを受け、ファッションデザインの基礎となるデザイン展開方法を学び、スタイリングデザインをするための発想力を身に付ける。												
授業内容												
テーマ、コンセプトを立てスタイリングを発想する手法を学び、リサーチ、発想力を強化させる。またオリジナリティのあるスタイリングを表現できる力を身につける。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	1	スタイリングデザイン発想					シルエット開発とプロポーション決定					
2	1	スタイリングデザイン発想					スパイスとなるアイデアのリサーチ手法・アイデア落とし込み					
3	1	スタイリングデザイン発想					テクニクリサーチ手法・落とし込み					
4	1	スタイリングデザイン発想③					ディスカッション					
5	1	スタイリングデザイン発想					ムード・トレンド分析					
6	1	スタイリングデザイン発想					イメージ資料の収集とチェック・スケッチ					
7	1	スタイリングデザイン発想					インスピレーションミューズのリサーチと研究					
8	1	スタイリングデザイン発想					コラージュ実験とイラストレーションミックス					
9	1	スタイリングデザイン発想					シルエット開発とプロポーション決定					
10	1	スタイリングデザイン発想					スパイスとなるアイデアのリサーチ手法					
11	1	スタイリングデザイン発想					アイデアの落とし込み					
12	1	スタイリングデザイン発想					テクニクリサーチの手法・落とし込み					
13	1	スタイリングデザイン発想					ポートフォリオ説明					
14	1	スタイリングデザイン発想					ポートフォリオ作成					
15	1	スタイリングデザイン発想					ポートフォリオ作成					
留意事項												
自分自身の発想に必要なアイデアをたくさんの事柄からセレクトしデザインへ落とし込む為、何事にも興味を持って普段から過ごすこと。												
教材												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
テーマからインスピレーションしたスタイリングを提案し、自らの新しいスタイリングを考案する				ディスカッション 課題作成				取組姿勢		25%		
								提出物		25%		
								習熟度(到達目標に対して)		50%		

学科名	スタイリスト学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期		後期	○
講座コード	授業科目名							授業時間数				
S117	スタイリング研究 I							30				
担当教員	中村 紗希				科目区分	講義		演習	○	実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	アパレルメーカーでデザイナーとして勤務。インナーやアウター、ボトムスまで多種多様なアイテムをトータルコーディネートで企画。実務経験を生かし、授業では商品知識やコーディネートテクニックの基礎知識を身につける。										
講義目的												
スタイリストの様々なジャンルに必要な知識の理解と、リアルなスタイリストへのお仕事依頼に対するスタイリングの知識と技術を学ぶ。												
授業内容												
リアルテーマに対するスタイリングを組み撮影を重ねることで、スタイリング力の向上、クライアントへの対応力を身に付ける。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	2	スタイリング①					撮影とカメラの知識・スタイリングテーマ①1体					
2	2	スタイリング①					スタイリング研究					
3	2	スタイリング①					プレゼンテーション・修正					
4	2	スタイリング①					修正・バック紙セット構図確認・カメラスマホ確認					
5	2	スタイリング①撮影①					撮影					
6	2	スタイリング②					スタイリングテーマ②2体					
7	2	スタイリング②					スタイリング研究					
8	2	スタイリング②					スタイリングプレゼン・修正					
9	2	スタイリング②撮影②					撮影					
10	2	スタイリング③					スタイリングテーマ③2体					
11	2	スタイリング③					スタイリングプレゼン・修正					
12	2	スタイリング③撮影③					カメラマン撮影					
13	2	スタイリング③撮影③					カメラマン撮影					
14	2	撮影④					修了展カメラマン撮影					
15	2	撮影④					修了展カメラマン撮影					
留意事項												
スタイリングの途中経過チェックが必要であり、欠席や作業遅れの場合は次回授業までに課題を進めておく。												
教材												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
撮影知識とモデルに対するケアの理解。 2年次の前期終了時にBOOKが完成する。				講義 実技 課題作成				提出物/期限遵守		80%		
								取組姿勢		10%		
								プレゼン		10%		